

“何ができるのかが求められている..”

自分の若いころと今の世の中はすいぶん変わりました。大学を卒業するころバブル全盛期で景気が良く、就職も超売り手市場と言われていました。自分の親世代も高度経済成長と言われていて景気が良かった時代です。（団塊の世代ともいわれていました）その頃は、ものをつくるのが経済の主流でいかに正確に決まったものをつくれるかが求められていました。なので、学校での教育もこのような社会で通用する多くの知識、技能を持った人材が求められ、学習内容を詰め込むことが求められていました。受験戦争という言葉が言われ始めたのもこのころからです。しかし、世の中が変わり、学校でもタブレット、家庭でもスマホやパソコンが普通になり、ICT化が急激に進み、ロボットまでもがつくれるようになり、以前のような決まったものを正確に作るという時代ではなくなりました。それに伴い学校の授業も変化し、知識や技能の詰め込み学習から主体的、対話的で深い学び、が求められるようになりました。簡単に言うと“**あなた自身は何ができますか？**”ということと言えるようになるための授業に変わってきたのです。例えば「笑顔で挨拶ができます」「コミュニケーション能力があり、協調性があります」「アイデアが豊富でそのアイデアを具体的に実現することができます」・・などです。これらは学校の授業と関係ないのではと、思うかもしれませんが実はこれらは毎日の学校の授業で学んでいることなのです。もちろんうちの学校でもです。近年若くて起業する人が増えています。その人たちは日々の授業で学んだことをヒントに自分だったら・・とか、もっとこうすればうまくいくのに・・などを考えていたようです。もちろん授業で学習した内容そのものが直接使えるわけではありません。授業の学習内容と自分がほかに調べたこと、ほかに人から聞いたことなどをいくつか結びつけることによって起業するアイデアを思いつき、行動に移せたのです。皆さんが社会人になる頃はもっと起業する人が増えているかも・・・。

起業する、しないに関わらず、面接やプレゼン、交渉などで「あなた（あなたのアイデア）をうちで採用して、うちにはどのようなメリットがありますか？」と聞かれることがやがてくると思います。そのとき皆さんは自信を持って「〇〇ができます」といくつか言えるかが大切になります。「〇〇ができます」というのは、“スキル”とも言います。スキルは多ければ多いほどいいです。今の皆さんは、スキルを学校生活でより多く、そして質の高いものを身につけていく時期です。そのためにも1日1日の学校生活を大切に送って欲しいと思っています。以前の生徒総会の時に話したことを覚えていますか。「好かれる人になってほしい」です。そのために“ありがとう”“ごめんなさい”などが普通に言えるようになってほしいと話しました。実は、これも人としての大切なスキルで、社会に出てからもとても大切なことです。残りの中学校生活、多くのスキルを身につけてください。楽しみにしています。